

佐教文 第 6 号
令和7年4月28日

佐賀県知事
山口 祥義 様

公益財団法人佐賀県教育文化振興財団
理事長 檜崎 秀樹

令和6年度佐賀県少年自然の家（黒髪、波戸岬）の管理運営業務
事業報告書及び利用状況等について（報告）

このことについて、別添のとおり報告します。

【担当】公益財団法人佐賀県教育文化振興財団
事務局長 山田
TEL 0955-82-5507

令和 6 年 度

佐賀県黒髪少年自然の家
管理運営業務事業報告書

公益財団法人 佐賀県教育文化振興財団

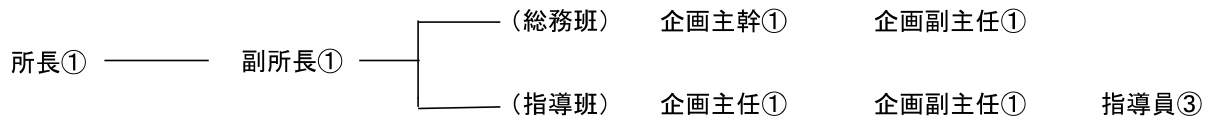
第 1 趣旨

この報告書は、佐賀県黒髪少年自然の家の管理運営に関する協定書第21条第1項第1号に定める「管理運営業務の実施状況」について記載しているものである。

第 2 管理運営体制

1 組織・人員

(1) 組織・人員配置



(2) 職員一覧

令和7年3月31日 現在			
役 職	氏 名	所 掌 事 務	免 許 ・ 資 格 等
所 長		所の総括	社会教育主事、教諭免許
副所長		所長の補佐、指導班の総括	社会教育主事、教諭免許、NEALリーダー
企画主幹		総務事務の総括、庁舎管理	
企画副主任		収入・支出事務	
企画主任		プログラムの企画、指導事務	NEALインストラクター
企画副主任		プログラムの実施、指導事務	NEALコーディネーター・教諭免許
指導員		〃	NEALインストラクター
〃		〃	NEALリーダー・教諭免許
〃		〃	NEALリーダー

(3) 勤務体制

① 勤務時間

- ・ A勤務…8時30分～12時15分(翌日)(休憩時間:12時15分～13時、17時15分～18時)
- ・ B勤務…8時30分～17時15分 (休憩時間:12時15分～13時)
- ・ C勤務…13時00分～17時15分(翌日)(休憩時間:12時15分～13時、17時15分～18時)
- ・ D勤務…13時15分～22時00分 (休憩時間:17時15分～18時)

② 週休日

- ・ 1週間につき2日

2 職員の指導育成・研修体制

日 時	研 修 名 (実 施 主 体)	受講者数等
4月1日	危機管理、個人情報保護、ハラスメントについて(職場研修)	9名
7月1日	普通救命講習(講師:杵藤地区武雄消防署)(職場研修)	9名
8月28日	同和問題講演会(佐賀県人権・同和对策課)	1名
9月24日	消防訓練(消火・通報・避難)(職場研修)	9名
1月13日	野外活動における刃物等の取扱い講習及び実習(佐賀県ボーイスカウト連盟)	1名

日 時	研 修 名 (実 施 主 体)	受講者数等
2月3日	危機管理とコミュニケーション術(職場研修)	9名
3月19日	消防訓練(消火・通報・避難)(職場研修)	9名

3 地元との連携

時 期	連 携 等 内 容
通 年	黒髪の浪漫まつり実行委員会・事務局会(委員:所長、事務局長:山内公民館長)
4月	黒髪山山開き参加(黒髪の浪漫まつり実行委員会主催)
11月	黒髪山陶芸作家村(7社) 窯祭りと連携し、黒髪山系山歩き教室開催(講師:黒髪植物の会代表)
3月	黒髪少年自然の家周辺及びウォークラリーコース清掃活動 (黒髪山を守る会:黒髪へんろ道運営協議会協賛)

第 3 施設の運営に関する業務

1 休所日と施設点検日

(1) 休所日

休 所 日	期 間	理 由
令和6年12月29日～ 令和7年1月3日	6日間	年末年始休暇のため
令和7年1月28日～ 令和7年1月29日	2日間	職員研修のため

(2) 施設点検日

① 自家用電気工作物点検

点検月日	4月2日	6月5日	8月2日	10月4日	11月12日	12月4日	2月3日
異常の有 無	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし

② ボイラー点検・整備

○ 給湯用ボイラー(管理棟内の浴室)

- ・ 点検・整備日 令和6年11月26日
- ・ 点検結果 安全弁分解整備済

③ 消防用設備等点検

- ・ 点検日 令和6年9月13日 令和7年3月19日
- ・ 点検結果 異常なし 異常なし

2 受入れ事業

(1) 利用実績

延べ利用者数	延べ宿泊者数	左のうち免除者数	実利用者数	利用団体数
人 20,173	人 7,602	人 126	人 12,571	団体 516

(2) 県内学校の優先受付

受 付 期 間	受 付 件 数	受付総人数
令和6年4月1日～ 令和6年5月31日	8件	714人

(3) 活動プログラム

提示した活動プログラム内容で職員が指導したプログラム

① 野外活動

登山【支援】、わんぱく大冒険【支援】、オリエンテーリング【支援】、ウォークラリー【支援】、ハイキング【支援】
自然(植物・植林・樹木・野鳥・岩石・地層・水生生物・昆虫)観察【支援】、天体(星空)観察【支援】、溪流遊び【支援】

② 館内活動

講話(黒髪の植物・大蛇退治伝説・黒髪山の伝説)【支援】、レクリエーション【支援】

③ 交流・交歓

キャンプファイヤー【支援】、キャンドルの集い【支援】

④ アウトドア

野外炊飯【支援】

⑤ スポーツ

モルック、キャッチ・ザ・スティック、スカッドボーイ、バグゴ【支援】、バレーボール、バドミントン、綱引き、玉入れ

⑥ クラフト活動

どんぐり(トトロ)人形、ぶんぶんゴマ、壁掛け、竹とんぼ、ペンダント、鳥笛、キーホルダー【支援】

⑦ 出前講座

クラフト制作、レクリエーション、野外炊飯【支援】

(4) 受入事業における利用団体への指導・支援

当施設が提示している活動プログラムの実施については、用具の貸出し、使用方法、活動方法、危険予防などの支援を行っている。

また、団体から要望があれば、指導を行うことにしている。今年度は、以下のとおり指導・支援を実施した。

・ 野外活動

登山、わんぱく大冒険でのチェックポイントの助言及び危険回避の方法等の指導・支援。

・ 野外炊飯

薪割りの方法、火の燃やし方、包丁の扱い、調理中の安全・衛生面についての指導。

・ キャンプファイヤー・キャンドルの集い

衣装やキャンドル等の道具の使用法の指導及び薪組、キャンドルの配置等の支援。

・ ウォークラリー・ハイキング・オリエンテーリング

ウォークラリー等のねらい、活動場所の状況、チェックポイント等についての助言やゼッケン・リュックサック・コンパス・地図等の貸出。

・ 館内活動

黒髪の植物・大蛇退治伝説・黒髪山の伝説等の講話、レクリエーションの進め方・注意点についての助言・指導。

・ クラフト活動

クラフトで使用する材料・道具の用意、作り方の手順や説明、安全面・技術面の指導・支援。

・ 出前講座

団体等からの要請により、クラフト活動・レクリエーション・野外炊飯等の方法について指導・支援。

※指導・支援については、事後のアンケートで「クラフトの事前指導が分かりやすく楽しく制作できた」「鎖場のポイントについての指導が的確だったため安全に登山できた」等の意見があった。また、5類移行後も、感染症対策については十分な説明責任を果たすように心掛けた。豊かな自然環境での活動における利用者の安心安全な活動確保のため、コース内の点検を強化するとともに指導者に対し情報提供を十分に行い、活動内容に沿った指導・支援の充実を図っていく。

(5) フィールドの開発・整備

月・日	4月13日	5月21日	6月21日	7月20日	8月31日	9月26日
点検結果	特になし	わんぱくの国 乗って渡る部分 の木の腐食	特になし	コース全体 見通しが悪い箇所 あり	特になし	特になし
措置月日	—	交換5/21	—	シダ刈り 7/20	—	—
月・日	10月25日	11月25日	12月25日	1月30日	2月14日	3月20日
点検結果	特になし	コース全体 危険な木が複数 あり	特になし	コース全体 遊具取り付け木 や竹に腐食み られる	コース全体 遊具取り付け 木や竹に腐食 みられる	つどいの広場 フェンス柱の腐 食
措置月日	—	撤去11/25	—	交換予定	交換予定	交換予定

3 主催事業・自主事業

事業名			事業区分	期 日	参加人員	効 果	ボランティアの活用等	
主 催 事 業	くろ か み 自 然 体 験	サマースクール	ウ	8/11～12	57名	黒髪 の自然の中で同年代の者同士が集団宿泊等の共同生活や登山、わんぱく大冒険、クラフト等の自然体験活動を通して、友達づくり、我慢すること、協力すること、助け合うことの大切さや自然の中で自らが判断し行動することの重要性を学ぶことにより、判断力や創造力と豊かな情操、人間関係能力等の社会性などを身につけ「生きる力」を育むことができた。	4名	
		ワイルドキッズ (1期、2期)	ウ	9/7～8	41名		2名	
				10/26～27	35名		2名	
		アドベンチャー教室 (1期、2期)	ウ	5/11～12	48名		2名	
				3/15～16	63名		3名	
		ウインタースクール (1期、2期、3期)	ウ	12/7～8	22名	同年代の者同士が厳寒期に集団宿泊や登山、わんぱく大冒険、クラフト制作などの自然体験活動を通して、体力の向上、豊かな情操、対人関係能力等の社会性などを身に付け「生きる力」を育むことができた。	1名	
				1/11～12	49名		2名	
				2/8～9	積雪中止			
		親 子 自 然 体 験	春満喫！山菜摘みとトレッキング	ア	4/6～7	65名	黒髪 の自然の中で親子が、他の家族と一緒に季節に合わせた自然体験活動を行うことで四季の変化を堪能し、自然の恵みに感謝するとともに、これらの活動を通して、親子の絆を強めることと家族間の交流をはかることに寄与した。	
	芋づくりプロジェクト		ア	6/1～2	74名			
	親子ふれあいキャンプ		ア	8/24～25	43名			
	空飛ぶ体験 ほっこりセミナー		ア	9/28～29	72名			
	秋の収穫祭		ア	11/9	63名			
	年末フェスタIn黒髪		ア	12/21～22	29名	地域とのつながりが薄れ、年々忘れ去られていく年末の恒例行事である餅つきや門松(ミニ)づくりをすることにより、日本の伝統文化に触れるとともに、1年を振り返り新しい年への計画づくりの機会を提供した。		
	親子ふれあい チャレンジセミナー		ア	1/25～26	30名	親子が野外でピザ作り、親子レクリエーションなどを通して、スキンシップを深め、家族間の交流が活発になるよう支援した。 また、親に対しては子育てに関する講演会、子どもに対してはレクリエーションを分かれて行い、それぞれ同世代間の交流ができるよう支援した。		
	親子わくわく 楽習セミナー		ア	3/2	13名			
	(施設利用指導者研修事業) 黒髪セミナー			イ	5/17(5名) 6/21(4名)	9名	当施設を利用する学校や団体の指導者に対して、当施設の特徴の説明や各種プログラムの体験などの事前研修を行い、当日の活動が安全かつ効率的に実施できるように援助することができた。	
	(施設ボランティア養成事業) 黒髪ボランティア養成 セミナー			イ	7/6～7	22名	少年自然の家での活動に必要な知識や技術などの研修を通して、実践的な指導力を習得したワーカーの養成をすることができた。	
提 案 型 事 業	地 域 貢 献	くろかみ山系山歩き教室 黒髪山系窯元めぐりと紅葉狩り	—	11/17 11/24	23名	自然豊かで、四季の移り変わる黒髪山系の魅力を生かし、安全で楽しい山歩きを行い、ストレスの解消と健康増進を図った。(対象:成人)	—	
		施設開放事業 親子でいっしょ！ 黒髪ホリデー ・紅葉の森をトレッキング ・くろかみキッズデー ・クラフト＆わた菓子ゲット	ア	11/10(6) 12/1(13) 2/16(13)	32名	施設を開放し自然の中での活動の素晴らしさを体感してもらうと共に、幼児同士で活動することによる社会性の醸成を目指した。	- - - -	
	共 同 共 催	佐賀県3施設ラリー 子ども体験フェス	ア	10/20	18名	3施設の特徴を生かし、親子の自然体験を通して、子どもたちの健やかな成長を育んだ。	3名	
		防災キャンプ	ア	6/15～16	16名	頻発する災害の話聞き、自然の怖さを知るとともに、防災について体験をもとに理解を深めた。	-	
	くろかみ出前講座			ア	随時	38団体 2,604名	黒髪少年自然の家のプログラムを小学校、公民館、子どもクラブ等において実施し、多くの人に体験してもらうとともに、少年自然の家の利用を働きかけることができた。	—

※事業区分 (ア)青少年の健全育成に係る体験活動、研修等 (イ)青少年の体験活動を支援する指導者の育成 (ウ)青少年が抱える課題の未然防止に資する体験活動

4 施設事業にかかる広報・PR等

(1) 所報・活動プログラム等の作成

- 所 報 … 2, 500部
- 出前講座案内 … 3, 000枚

(2) 県内利用者、冬季利用者の増加のための誘客活動の実施状況(期日、方法等)

期 日	方 法 等
5・6・7月	県内の保育園・幼稚園・こども園及び市町教育委員会を訪問し利用をお願いするとともに、武雄市内の青少年育成町民会議などの団体や道の駅山内など公共の施設へ所報、自然の家周辺スポーツ施設(グラウンド等)ガイドの配布
1月・2月	県西部の保育園・幼稚園・こども園及び町内の小学校を訪問し、今年度の利用お礼と次年度のご利用案内
通 年	東部、西部(北部支所を含む)教育事務所及び西部管内の小学校あてに主催・提案事業の参加を要請
	Web広報(Instagram、フェイスブック)

第 4 施設の維持及び管理に関する業務

1 委託業務

庁舎清掃業務、庁舎警備業務、電気工作物点検業務、消防設備点検業務、食事提供業務等の状況

別紙「令和6年度 黒髪少年自然の家委託業務実績一覧」のとおり

2 当該年度に指定管理経費で購入した備品

分 類	品 名	規 格	数量	金 額	購 入 年 月 日
7-26-5	冷蔵庫	サンヨーSRR-J1581VS 備品番号:11901788	1	333,900円	令和6年11月28日

令和6年度 黒髪少年自然の家委託業務実績一覧

	委託業務名	内容	業者名	契約期間	契約額
1	庁舎機械警備業務委託	・機械警備			
2	庁舎清掃業務委託	・日常清掃(作業員常駐、年262日/人) ・管理棟 ワックス 年4回 ・プレイホール “ 年1回 ・工作室 “ 年2回 ・小・中研修室 “ 年1回 ・サッシ・網戸清掃 年1回 ・エアコンフィルター清掃 年2回 ・厨房害虫駆除 年1回			
3	消防用設備点検業務委託	○ 外観機能点検 年1回 自動火災報知設備：一式 漏電火災警報器：一式 非常警報設備：一式 火災報知設備：一式 ○ 総合点検 年1回			
4	自家用電気工作物保安業務委託	○ 通常点検 年6回 ○ 定期点検 年1回			
5	一般廃棄物特別収集業務委託	○ 可燃物 週1回 ○ 不燃資源物 週1回			
6	寝具類洗濯業務	○ シーツ、毛布、タオルケット コタツ布団、ベットパット			
7	食堂管理運営業務	○ 食事の提供 朝食@450円昼食@600円夕食@780円			
8	貯水槽清掃委託	○ 受水槽(15t×1基) 清掃・消毒・点検 年1回 ○ 高架水槽(4t×2基) 清掃・消毒・点検 年1回			
9	ボイラー保守点検業務委託	○ 給湯用ボイラー保守点検 年1回			
10	パソコン保守業務委託	○ サーバーおよびパソコンの運用支援			
11	ホームページの保守業務	○ ホームページのシステム・プラグインの更新作業 ○ データの保全 ○ アクセス解析の報告等			
12	建築物等定期点検	○ 定期点検 3年に1回 ※ 令和6年度なし。次回は令和8年度実施			
13	グリーストラップ汚泥処理清掃	○ グリーストラップ汚泥処理清掃 年2回			

※ 前各号に掲げるもの以外の委託業務がありましたら記載してください。

※ 再委託する業務内容は、協定書別記2にそったものです。実態に合わせて記載してください。

令和6年度 佐賀県黒髪少年自然の家

(3月分利用統計)

令和7年3月31日現在

1. 利用状況

	延 利 用 者 数	延 宿 泊 者 数	実 利 用 者 数
男	11,485	4,985	6,500
女	8,688	2,617	6,071
今年度計	20,173	7,602	12,571
開所以来合計	1,485,912	802,306	682,735

2. 類型別利用者数及び団体数 (%)

	園児	小学	中学	高校	大学	特別支援学校等	少年団体	青年団体	女性団体	家族	企業	指導者	成人	高齢者	出前	合計
実数	949	1,831	857	419	182	64	3,099	230	0	729	356	52	151	48	3,604	12,571
	7.5	14.6	6.8	3.3	1.4	0.5	24.7	1.8	0.0	5.8	2.8	0.4	1.2	0.4	28.7	100.0
団体数	42	98	29	12	7	7	132	20	0	76	15	4	34	2	38	516
	8.1	19.0	5.6	2.3	1.4	1.4	25.6	3.9	0.0	14.7	2.9	0.8	6.6	0.4	7.4	100.0
県内団体数	42	96	14	7	2	7	92	5	0	65	12	4	25	0	37	408

3. 宿泊日数別実利用者及び団体数 (%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊以上	合計
実数	6365	4920	890	62	299	35	0	12571
	50.6	39.1	7.1	0.5	2.4	0.3	0.0	100.0
団体数	333	137	30	9	6	1	0	516
	64.5	26.6	5.8	1.7	1.2	0.2	0.0	100.0
県内団体数	309	91	6	1	1	0	0	408

4. 規模別利用団体数 (%)

	50人未満	50～99人	100～149人	150～199人	200～249人	250人以上	合 計
団体数	455	44	7	4	3	3	516
	88.2	8.5	1.4	0.8	0.6	0.6	100.0
前年度 まで	8,294	3,562	922	408	487	16	13,689
	60.6	26.0	6.7	3.0	3.6	0.1	100.0
合計	8,749	3,606	929	412	490	19	14,205
	61.6	25.4	6.5	2.9	3.4	0.1	100.0

5. 月利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	26	28	31	357
利用状況	24	24	26	29	30	24	26	22	17	13	10	15	260
比 率	80.0	77.4	86.7	93.5	96.8	80.0	83.9	73.3	60.7	50.0	35.7	48.4	72.8

6. 延利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	1,865	2,447	1,332	2,595	3,058	1,452	2,800	1,956	532	605	1,060	471	20,173

7. 延宿泊者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	964	810	442	963	1,397	502	1,487	361	207	216	140	113	7,602

8. 実利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	901	1,637	890	1,656	1,698	889	1,380	1,528	325	389	920	358	12,571

9. 類型別実利用者数 (団体数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
園 児	0 0	26 4	5 3	278 13	99 6	78 6	222 3	73 3	0 0	0 0	3 1	165 3	949 42
小 学	13 6	335 12	250 11	338 18	19 8	108 11	390 18	373 10	4 3	0 0	0 0	1 1	1,831 98
中 学	195 5	91 2	44 3	2 1	203 9	122 1	84 1	2 1	59 1	0 0	55 5	0 0	857 29
高 校	198 1	0 0	23 1	21 1	95 3	0 0	0 0	46 3	35 2	0 0	0 0	1 1	419 12
大 学	0 0	45 1	0 0	0 0	20 1	86 2	0 0	0 0	2 1	0 0	29 2	0 0	182 7
特別支援学校等	0 0	7 1	2 2	3 2	52 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	64 7
少年団体	319 14	245 12	259 14	661 23	667 18	265 17	83 7	108 5	126 5	179 6	50 4	137 7	3,099 132
青年団体	22 1	0 0	22 1	22 1	97 2	0 0	54 12	2 1	0 0	11 2	0 0	0 0	230 20
女性団体	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
家 族	80 4	17 5	89 7	31 9	128 8	136 12	39 6	82 8	49 6	43 5	16 2	19 4	729 76
企 業	45 6	12 1	2 1	2 1	2 1	0 0	288 4	5 1	0 0	0 0	0 0	0 0	356 15
指 導 者	0 0	6 2	4 1	42 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	52 4
成 人	7 4	15 5	0 0	5 4	2 2	37 4	12 2	30 4	17 2	5 3	5 2	16 2	151 34
高 齢 者	0 0	34 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	14 1	0 0	0 0	0 0	0 0	48 2
出 前	22 1	804 2	190 1	251 3	314 7	57 2	208 4	793 8	33 2	151 5	762 2	19 1	3,604 38
合 計	901 42	1,637 48	890 45	1,656 77	1,698 67	889 55	1,380 57	1,528 45	325 22	389 21	920 18	358 19	12,571 516

10. 宿泊日数別実利用者数 (団体数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
日 帰 り	213 28	924 28	389 33	671 52	548 33	383 39	733 34	1,155 32	122 13	208 16	788 9	231 16	6,365 333
1泊2日	315 8	585 15	501 12	964 24	850 21	455 14	335 9	373 13	189 7	126 4	100 7	127 3	4,920 137
2泊3日	338 5	128 5	0 0	0 0	267 11	51 2	19 4	0 0	0 0	55 1	32 2	0 0	890 30
3泊4日	0 0	0 0	0 0	21 1	0 0	0 0	27 6	0 0	14 2	0 0	0 0	0 0	62 9
4泊5日	35 1	0 0	0 0	0 0	33 2	0 0	231 3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	299 6
5泊6日	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	35 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	35 1
6日以上	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
合 計	901 42	1,637 48	890 45	1,656 77	1,698 67	889 55	1,380 57	1,528 45	325 22	389 21	920 18	358 19	12,571 516

11. 規模別利用団体

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
50人未満	39	44	39	67	57	52	49	36	21	20	16	15	455
50～99人	1	2	3	8	10	2	4	7	1	1	1	4	44
100～149人	1	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	7
150～199人	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
200～249人	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
250人以上	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
合 計	42	48	45	77	67	55	57	45	22	21	18	19	516

1 2. 年度別利用状況

	延 利 用 者 数	延 宿 泊 者 数	実 利 用 者 数	団 体 数
昭和50年度	17,286	9,480	7,808	104
昭和51年度	30,281	16,743	12,674	147
昭和52年度	35,952	20,152	15,789	166
昭和53年度	36,084	20,361	15,792	185
昭和54年度	37,956	20,724	16,284	194
昭和55年度	40,119	22,714	17,029	197
昭和56年度	42,450	24,221	18,228	239
昭和57年度	44,933	25,418	19,528	236
昭和58年度	47,775	27,872	19,825	233
昭和59年度	48,547	29,228	19,334	225
昭和60年度	46,481	27,338	19,898	224
昭和61年度	47,802	27,684	20,728	236
昭和62年度	35,872	20,860	15,012	186
昭和63年度	31,285	17,981	13,304	174
平成1年度	33,159	18,776	14,390	185
平成2年度	32,866	18,934	13,931	199
平成3年度	29,512	16,477	13,222	180
平成4年度	32,992	18,531	14,389	210
平成5年度	33,378	18,513	14,765	243
平成6年度	25,857	14,420	11,435	186
平成7年度	32,227	17,579	14,648	225
平成8年度	25,808	13,699	12,077	195
平成9年度	27,825	14,858	12,942	182
平成10年度	26,982	14,972	12,010	187
平成11年度	23,294	12,643	10,651	177
平成12年度	25,786	13,993	11,793	211
平成13年度	29,053	15,533	13,520	237
平成14年度	30,914	17,263	13,651	249
平成15年度	28,757	16,505	12,252	264
平成16年度	28,150	15,614	12,536	280
平成17年度	25,152	13,844	11,308	254
平成18年度	26,838	14,900	11,938	290
平成19年度	25,954	14,042	11,912	292
平成20年度	27,649	14,931	12,718	329
平成21年度	26,564	14,665	11,899	327
平成22年度	27,418	14,998	12,420	305
平成23年度	26,301	14,397	11,904	286
平成24年度	27,007	14,631	12,376	288
平成25年度	28,199	14,755	13,444	433
平成26年度	27,383	13,598	13,785	406
平成27年度	26,606	13,018	13,588	396
平成28年度	25,153	12,028	13,125	416
平成29年度	25,237	11,766	13,532	447
平成30年度	24,759	11,417	13,265	464
令和元年度	21,201	9,957	11,244	417
令和2年度	9,614	3,027	6,584	382
令和3年度	16,980	6,076	10,904	510
令和4年度	18,796	6,374	12,422	623
令和5年度	19,545	7,194	12,351	668
令和6年度	20,173	7,602	12,571	516
合計	1,485,912	802,306	682,735	14,205

13. 出前講座利用状況

日付	団体名	人数
4月26日		22
5月5日		780
5月18日		24
6月9日		190
7月12日		205
7月29日		14
7月30日		32
8月5日		75
8月6日		42
8月7日		47
8月7日		32
8月9日		51
8月18日		31
8月20日		36
9月4日		25
9月6日		32
10月11日		36
10月19日		122
10月19日		16
10月23日		34
11月3日		45
11月10日		30
11月10日		25
11月10日		200
11月16日		52
11月21日		53
11月23日		338
11月29日		50
12月1日		22
12月11日		11
1月17日		34
1月18日		32
1月22日		6
1月24日		35
1月24日		44
2月1日		50
2月24日		712
3月26日		19
合計		3604

14. 年度別出前講座利用状況

	人数
平成19年度	380
平成20年度	747
平成21年度	500
平成22年度	651
平成23年度	697
平成24年度	604
平成25年度	1,133
平成26年度	649
平成27年度	1,440
平成28年度	1,692
平成29年度	1,374
平成30年度	1,227
令和元年度	1,547
令和2年度	434
令和3年度	486
令和4年度	1,457
令和5年度	2,196
令和6年度	3,604
合計	20,818

15. キャンセルの状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数 (宿泊)	2	0	2	10	8	6	1	3	1	1	1	3	38
実利用者数 (宿泊)	34	0	80	664	207	248	262	200	2	60	7	127	1,891
団体数 (日帰り)	0	3	1	0	2	7	3	1	0	0	1	1	19
実利用者数 (日帰り)	0	122	20	0	60	50	75	20	0	0	30	19	396
利用料金の減収額	22,400	2,600	56,600	1,012,900	117,200	162,200	185,000	133,900	600	42,000	4,800	70,100	1,810,300

※利用料金（寝具代除く）の減収額については、概算でご記入ください。（宿泊：実利用者数×泊数×利用料金）（日帰り：利用料金×時間）

佐教文 第 9-1 号

令和7年 6月28日

佐賀県政策部

政策企画監 納富大介 様

公益財団法人佐賀県教育文化振興財団

理事長 檜崎 秀樹

令和6年度佐賀県黒髪少年自然の家の管理運営に係る
事業報告について(提出)

令和2年3月4日付けで締結した佐賀県黒髪少年自然の家の管理運営に関する協定
書第21条の規定により、別添のとおり提出します。

黒髪少年自然の家

	項目	R6年度実績
収入	委託料	64,996,000
	利用料収入	4,116,690
	カッター活動料収入	
	主催事業収入	603,678
	提案型事業収入	
	その他の事業収入	274,750
	食堂光熱水費等実質負担金	
	クラフト教材費	245,950
	キャンドル代	28,800
	受取地方公共団体補助金	
	雑収入	230,179
	広報負担金	
	その他雑収入(自販機・公衆電話等)	230,179
	受取利息	17,605
	計	70,238,902

支出	人件費	報酬手当	
		給与手当	33,997,824
		福利厚生費(健診料含む)	5,131,406
		労働保険	420,706
		計	39,549,936
	退職給与引当金		677,450
	施設管理受託事業	外部委託費	7,883,529
		修繕費	3,304,790
		その他受託事業費	10,106,676
	事業費	利用団体支援事業	274,933
		主催事業	909,803
		提案型事業	0
		広報事業	227,535
	計		22,707,266
	消費税		3,977,304
	合計		66,911,956

(一般会計)
(佐賀県委託金収入)

R6年度 事業収入

月日	黒髪	波戸岬	調査研究事業		委託金計	合 計
4月30日	17,548,920					
7月23日	17,548,920					
10月23日	17,548,920					
1月31日	12,349,240					
	64,996,000		0			

(一般会計)

令和6年度

その他の事業収益

黒髪少年自然の家				黒髪 計	波戸岬少年自然の家						波戸岬 計
月日	キャンドル代	キャンプ	クラフト 教材費		食事代 弁当代	月日	キャンドル代	キャンプ	クラフト 教材費	食事代 弁当代	
4月	0	2,050	0								
5月	3,600	2,050	9,800								
6月	1,200	2,050	1,500								
7月	7,200	8,200	44,600								
8月	2,400	14,350	40,900								
9月	3,600	2,050	20,450								
10月	6,000	2,050	23,850								
11月	3,600	6,150	35,100								
12月	1,200	0	4,700								
1月	0	0	9,000								
2月	0	0	2,800								
3月	0	0	14,300								
	28,800	38,950	207,000								
	274,750										

その他の事業収入



(一般会計)**R6年度 利用料収入**

黒髪少年自然の家		黒髪 計	波戸岬少年自然の家		波戸岬 計	利用料 収入合計
月日	利用料収益		月日	利用料収益		
4月	402,300	402,300				
5月	279,300	279,300				
6月	221,000	221,000				
7月	334,300	334,300				
8月	644,650	644,650				
9月	238,800	238,800				
10月	592,540	592,540				
11月	1,059,600	1,059,600				
12月	118,000	118,000				
1月	110,100	110,100				
2月	69,300	69,300				
3月	46,800	46,800				
計	4,116,690	4,116,690				

(一般会計) R6年度 事業収入 (主催・提案型)

黒髪少年自然の家				黒髪 計	波戸岬少年自然の家				波戸岬 計
月日	主催事業	自主事業 提案型			月日	主催事業	自主事業 提案型		
4/6	37,160		春満喫！山菜摘みとトレッキング	37,160					
5/11	37,156		アドベンチャー教室 1 期	37,156					
6/1	79,280		芋づくりプロジェクト	79,280					
7/6	14,740		黒髪ボランティア養成セミナー	14,740					
8/11	44,282		サマースクール	44,282					
8/24	27,880		親子ふれあいキャンプ	27,880					
9/7	31,766		ワイルドキッズ 1 期	31,766					
9/28	77,120		空飛ぶ体験ほっこりセミナー	77,120					
10/26	27,146		ワイルドキッズ 2 期	27,146					
11/9	37,800		秋の収穫祭	37,800					
12/7	17,038		ウインタースクール 1 期	17,038					
12/21	46,750		年末フェスタin黒髪	46,750					
1/11	37,926		ウインタースクール2期	37,926					
1/25	27,130		親子ふれあいチャレンジセミナー	27,130					
				0					
3/2	11,700		親子わくわく楽習セミナー	11,700					
3/25	48,804		アドベンチャー教室 2 期	48,804					
				0					

1 収入積算内訳

			計画額		実績額
項 目		金 額 (単位：千円)	積 算 基 礎	(単位：円)	(単位：円)
1	県委託料	64,996	64,996,000 円 × 1 式	64,996,000	64,996,000
2	利用料金 〈本館〉	3,366			
	(1) 中学生以下		0 円 × 5,690 人	0	
	(2) 高校生・大学生等	987	300 円 × 3,290 人	987,000	
	(3) 上記に掲げる以外の者 〈キャンプ場〉	826	700 円 × 1,180 人	826,000	
	(4) 中学生以下	0	0 円 × 260 人	0	
	(5) 高校生・大学生等	2	150 円 × 19 人	2,850	
	(6) 上記に掲げる以外の者 〈施設使用料〉	21	350 円 × 60 人	21,000	
	(7) 研修室等利用料 (1室)	6	200 円 × 30 h	6,000	
	冷暖房費	0	100 円 × 4 h	400	
	(8) 寝具代	1,524	150 円 × 10,160 人	1,524,000	
	小 計			3,367,250	4,116,690
3	食堂事業	432			
	(1) 電気料負担金		14,000 円 × 12 月	168,000	
	(2) 水道料負担金		13,000 円 × 12 月	156,000	
	(3) ごみ収集負担金		1,000 円 × 12 月	12,000	
	(4) 下水道負担金		8,000 円 × 12 月	96,000	
	小 計			432,000	0
4	その他	612			
	(1) 主催事業	391			
	①くろかみ自然体験事業				
	・ 傷害保険		100 円 × 360 人	36,000	
	・ 傷害保険		120 円 × 120 人	14,400	
	・ 写真代		100 円 × 360 人	36,000	
	・ 教材費		300 円 × 300 人	90,000	
	・ 教材費		150 円 × 300 人	45,000	
	②親子自然体験交流事業				
	・ 傷害保険		100 円 × 480 人	48,000	
	・ 写真代		100 円 × 300 人	30,000	
	・ 教材費		200 円 × 300 人	60,000	
	・ 教材費		150 円 × 120 人	18,000	
	・ 教材費		50 円 × 60 人	3,000	
	③施設ボランティア養成事業				
	・ 傷害保険		100 円 × 20 人	2,000	
	・ 教材費		300 円 × 20 人	6,000	
	④施設利用指導者研修事業				
	・ 傷害保険		100 円 × 30 人	3,000	
	小 計			391,400	603,678
	(3) 飲食事業	6			
	①食堂広報負担金		6,000 円 × 1 式	6,000	0
	(4) クラフト等	35			
	①キャンドルの集い		1,050 円 × 20 団体	21,000	
	②クラフト代		100 円 × 100 人	10,000	
			50 円 × 80 人	4,000	
				35,000	274,750
	(5) その他 (目的外等)	180			
	①公衆電話使用料		20 円 × 12 月	240	
	②コピー機使用料		10 円 × 150 回	1,500	
	③自動販売機売上手数料		14,000 円 × 12 月	168,000	
	④ごみ袋代		110 円 × 100 枚	11,000	
	小 計			180,740	230,179
	(6) 受取利息	0			17,605
合 計		69,406		69,408,390	70,238,902

令和6年度佐賀県黒髪少年自然の家委託料受入計画

	委託料計	1/4半期	2/4半期	3/4半期	4/4半期
人 件 費	46,151,000	12,460,770	12,460,770	12,460,770	8,768,690
施設管理・事業費	18,845,000	5,088,150	5,088,150	5,088,150	3,580,550
計	64,996,000	17,548,920	17,548,920	17,548,920	12,349,240
うち消費税	5,908,727	1,595,357	1,595,356	1,595,356	1,122,658

2 人件費内訳

		計画額		実績額
項 目		金 額	積 算 基 礎	(単位：円)
		(単位：千円)	(単位：円)	(単位：円)
1	人件費	46,151	所長1、副所長1、主任2、副主任1、主事1、指導員3	
	給与手当	35,441		
	(1) 給与		2,084,000 円 × 12 月	25,008,000
	管理職手当		20,000 円 × 12 月	240,000
	時間外手当		1,709,760 円 × 1 式	1,709,760
	宿直手当		5,900 円 × 210 回	1,239,000
	通勤手当		123,400 円 × 12 月	1,480,800
	(2) 賞与		5,763,082 円 × 1 式	5,763,082
	小計			35,440,642
				33,997,824
	福利厚生費	6,514		
	(3) 社会保険料等(事業主負担金)			
	健康保険料		1,883,080 円 × 1 式	1,883,080
	介護保険料		99,822 円 × 1 式	99,822
	厚生年金		3,206,445 円 × 1 式	3,206,445
	児童手当拠出金		119,153 円 × 1 式	119,153
	雇用保険		318,970 円 × 1 式	318,970
	労災保険		106,325 円 × 1 式	106,325
	退職給与積立金		779,400 円 × 1 式	779,400
	小計			6,513,195
				6,229,562
	租税公課費	4,196		
	(4) 消費税分 ((1)～(3)×10%)		41,953,837 円 × 10 %	4,195,384
	小計			4,195,384
				3,977,304
	その他			
	(5) その他 (プログラム支援員)		円 × 人	0
	小計			0
				0
	合 計	46,151		46,149,221
				44,204,690

2 施設維持管理経費内訳

項 目		金 額 (単位：千円)	計 画 額		実 績 額
			積 算 基 礎 (単位：円)		(単位：円)
1	会議費	11			
	① 来客用お茶等		11,000 円 × 1 式	11,000	8,640
2	賃金	260			
	① 日々雇用賃金		6,500 円 × 40 日	260,000	0
3	旅費交通費	130			
	(1) 費用弁償 ・ 職員研修関係講師旅費		10,000 円 × 1 人	10,000	
	(2) 県内旅費 ・ 関係機関との打ち合わせ等旅費（県内）		70,000 円 × 1 式	70,000	
	(3) 県外旅費 ・ 全国・九州所長会議 ・ 九州地区職員研修旅費		35,000 円 × 1 回 15,000 円 × 1 人	35,000 15,000	
	小 計			130,000	108,372
4	通信運搬費	310			
	(1) 電話料 ・ 固定電話 ・ 公衆電話		11,000 円 × 12 月 40,000 円 × 1 式	132,000 40,000	
	(2) 通信費 ・ 郵便切手 ・ メール便 ・ インターネット関係		44,000 円 × 1 式 30,000 円 × 1 式 5,324 円 × 12 月	44,000 30,000 63,888	
	小 計			309,888	313,205
5	消耗品費	1,320			
	(1) 消耗品他購入費		1,320,000 円 × 1 式	1,320,000	4,044,799
6	光熱水費	4,867			
	(1) 電気(新電力へ移行による減額分を建物修繕へ増額)		1,300,000 円 × 1 式	1,300,000	
	(2) 水道		1,100,000 円 × 1 式	1,100,000	
	(3) 下水道		660,000 円 × 1 式	660,000	
	(4) ガス		26,400 円 × 1 式	26,400	
	小 計			3,086,400	3,756,619
7	燃料費	921			
	(1) ガソリン		157円 × 1,000ℓ × 1.1	172,700	
	(2) 灯油		100円 × 600ℓ × 1.1	66,000	
	(3) 重油		100円 × 6,000ℓ × 1.1	660,000	
	(4) 混合油		165 円 × 120ℓ × 1.1	21,780	
	小 計			920,480	776,809
8	修繕費	3,375			
	(1) 建物修繕費		3,100,000 円 × 1 式	3,100,000	
	(2) 自動車修繕費		165,000 円 × 1 式	165,000	
	(3) 備品等修繕費		110,000 円 × 1 式	110,000	
	小 計			3,375,000	3,304,790
9	印刷製本費	242			
	(1) コピー費		11,000 円 × 12 月	132,000	
	(2) 事務用封筒		110,000 円 × 1 式	110,000	
	小 計			242,000	145,243
10	使用料及び賃借料	301			
	(1) ファックス賃借料		8,500 円 × 12 月	102,000	
	(2) テレビ受信料		60,000 円 × 1 式	60,000	
	(3) レンタルサーバー利用料		18,000 円 × 1 式	18,000	
	(4) 経理ソフト使用料		121,000 円 × 1 式	121,000	
	小 計			301,000	283,163

2 施設維持管理経費内訳

		計画額				実績額
項 目		金 額	積 算 基 礎			(単位：円)
		(単位：千円)	(単位：円)			(単位：円)
11	保険料	154				
	(1) 労災保険		2,080	円 × 1 式	2,080	
	(2) 自動車保険		97,200	円 × 1 式	97,200	
	(3) 管理賠償責任保険		54,690	円 × 1 式	54,690	
	小 計				153,970	154,346
12	報償費	50				
	(1) 職員研修関係講師謝金		50,000	円 × 1 回	50,000	204,564
13	租税公課費	29				
	(1) 自動車重量税		8,800	円 × 1 式	8,800	
	(2) 収入印紙		20,000	円 × 1 式	20,000	
	小 計				28,800	16,800
14	負担金	40				
	(1) 少年自然の家関係連絡協議会		40,000	円 × 1 式	40,000	7,500
15	委託料	10,072				
	(1) 庁舎清掃		4,180,000	円 × 1 式	4,180,000	
	(2) 庁舎警備		2,420,000	円 × 1 式	2,420,000	
	(3) 電気工作物保守点検		220,000	円 × 1 式	220,000	
	(4) 消防設備保守点検		125,400	円 × 1 式	125,400	
	(5) ボイラー等設備点検		275,000	円 × 1 式	275,000	
	(6) 貯水槽清掃		165,000	円 × 1 式	165,000	
	(7) ごみ集荷		46,200	円 × 1 式	46,200	
	(8) クリーニング		2,640,000	円 × 1 式	2,640,000	
	小 計				10,071,600	7,883,529
16	手数料	158				
	(1) 簡易水道検査		17,600	円 × 1 式	17,600	
	(2) 振込手数料		140,000	円 × 1 式	140,000	
					157,600	286,616
合 計		22,240			20,457,738	21,294,995

3 事業費内訳

		計画額		実績額
項 目		積 算 基 礎 (単位：円)		(単位：円)
金 額 (単位：千円)				
1	利用団体支援事業			
(1)	賃金			
①	アルバイト賃金	6,100 円 × 40 日	244,000	0
(2)	消耗品費			
①	消毒等薬品費	110,000 円 × 1 式	110,000	151,891
②	クラフト関係消耗品費	286,000 円 × 1 式	286,000	106,103
③	野外炊飯等関係消耗品費	176,000 円 × 1 式	176,000	16,939
(3)	保険料			
①	労災保険	56,000 円 × 1 式	56,000	
小 計		872	872,000	274,933
2	広報事業			
(1)	旅費			
①	広報活動旅費	40,000 円 × 1 式	40,000	4,034
(2)	印刷製本費			
①	所報 (2,500部)	110,000 円 × 1 式	110,000	77,825
②	リーフレット (2,000部)	110,000 円 × 1 式	110,000	
③	活動プログラム (2,500部)	110,000 円 × 1 式	110,000	
④	企業向けパンフレット	66,000 円 × 1 式	66,000	57,750
⑤	勉強会合宿のご案内	66,000 円 × 1 式	66,000	
⑥	封筒 (長3) 3000部	28,600 円 × 1 式	28,600	28,710
	(角2) 3000部	45,100 円 × 1 式	45,100	57,200
(3)	通信運搬費			
①	切手類購入費	50,000 円 × 1 式	50,000	2,016
小 計		626	625,700	227,535
3	主催事業			
(1)	くろかみ自然体験事業	663	663,000	
①	報償費			
	・ボランティア謝金	800 円 × 368 h	294,400	204,800
②	消耗品費			
	・要項印刷関係 (用紙、インク等)	72,100 円 × 1 式	72,100	110,901
	・記念写真代 (用紙、インク等)	100 円 × 480 枚	48,000	28,350
	・クラフト関係材料費	117,000 円 × 1 式	117,000	67,962
③	通信運搬費			
	・要項等送料	81,100 円 × 1 式	81,100	28,584
④	保険料			
	傷害保険料	50,400 円 × 1 式	50,400	32,438
(2)	親子自然体験交流事業	503	502,100	
①	報償費			
	・講師謝金 (延1人)	5,000 円 × 2 h	10,000	13,836
	・講師謝金 (延1人)	4,000 円 × 2 h	8,000	
	・講師謝金 (延2人)	2,000 円 × 6 h	12,000	
	・ボランティア謝金 (延4人)	800 円 × 64 h	51,200	
②	旅費			
	講師旅費	12,200 円 × 1 式	12,200	820
③	消耗品費			
	・要項印刷関係 (用紙、インク等)	82,400 円 × 1 式	82,400	67,337
	・記念写真代 (用紙、インク等)	50 円 × 480 枚	24,000	4,170
	・クラフト関係材料費	129,000 円 × 1 式	129,000	163,988
④	通信運搬費			
	・要項等送料	75,300 円 × 1 式	75,300	30,393
⑤	保険料			
	傷害保険料	48,000 円 × 1 式	48,000	38,024
⑥	使用料及び賃借料			
	バルーン係留代	50,000 円 × 1 式	50,000	70,000

3 事業費内訳

		計画額		実績額
項 目	金 額	積 算 基 礎 (単位：円)		(単位：円)
	(単位：千円)			
(3) 施設ボランティア養成事業	42		41,160	
① 報償費				
・講師謝金謝金		5,000 円 × 3 h	15,000	10,000
② 旅費				
・講師旅費		3,000 円 × 1 式	3,000	2,500
③ 消耗品費				
・要項印刷関係 (用紙、インク等)		6,160 円 × 1 式	6,160	7,494
・クラフト関係材料費		6,000 円 × 1 式	6,000	7,162
④ 通信運搬費				
・要項等送料		9,000 円 × 1 式	9,000	8,164
⑤ 保険料				
傷害保険料		100 円 × 20 人	2,000	2,156
(4) 施設利用指導者研修事業	89		88,140	
① 報償費				
・講師謝金謝金		800 円 × 80 h	64,000	
③ 消耗品費				
・要項印刷関係 (用紙、インク等)		2,640 円 × 1 式	2,640	3,416
・クラフト関係材料費		10,500 円 × 1 式	10,500	
③ 通信運搬費				
・要項等送料		8,000 円 × 1 式	8,000	7,308
④ 保険料				
傷害保険料		100 円 × 30 人	3,000	
小 計	1,297		1,294,400	909,803
合 計	2,795		2,792,100	1,412,271

令和6年度黒髪少年自然の家保全(維持・補修)実施報告

No.	箇所	価格(円)	業者名	完了年月日
1	掲揚台滑車修繕	18,700		R6.4.18
2	花苗植栽工事	25,000		R6.4.30
3	キャンプ場トイレフラッシュバルブ取替工事3カ所	151,800		R6.5.21
4	食堂ガラス・中研ガラス割れ替え、2棟ドア調整	38,200		R6.5.27
5	4-5エアコン取替工事	172,700		R6.6.30
6	厨房ガス回転釜修繕	50,160		R6.7.6
7	4棟玄関ガラス割れ替え、ドア修繕	11,000		R6.8.12
8	3-2ベットの修繕工事	189,200		R6.9.9
9	厨房冷凍庫修繕	40,348		R6.9.11
10	消防設備改修工事 消火器	29,150		R6.10.24
11	4棟排水管高圧洗浄、根切り	75,900		R6.11.25
12	小研修室空調機点検	25,300		R6.12.24
13	製氷機修理	44,451		R6.1.23
14	1棟2棟3棟リーダー室ベットの柵取付、壁板貼り工事	346,500		R7.2.12
15	1棟排水管高圧洗浄、根切り	94,600		R7.3.10
16	4棟コンセント電源盛替工事	84,150		R7.3.21
17	支障木伐採作業①	450,813		R7.3.31
18	支障木伐採作業②	317,086		R7.3.31
19	支障木伐採作業③	317,086		R7.3.31
20	丸太ベンチ新調工事	293,700		R7.3.31
21	つどいの広場フェンス取替工事①	99,000		R7.3.31
22	つどいの広場フェンス取替工事②	297,000		R7.3.31
23	公用車フィット車検、オイル・部品交換	47,630		R7.2.18
24	公用車フィットタイヤ交換	85,316		R7.2.18
計		3,304,790		

令和6年度 佐賀県黒髪少年自然の家 管理運営業務評価表

評 点 5:十分 4:ほぼ十分 3:どちらともいえない
2:やや不十分 1:不十分

項 目	評 価 の 観 点	数 値		実 践 事 項	評 点	評 価 基 準	課 題・改 善 点
		目 標	実 績				
1. 少年自然の家の施設の平等の確保							
① 生活弱者への配慮	・生活弱者への配慮等の対応はできたか。	100%	100%	・生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対しては、学校長の申請に基づき施設利用料の免除措置をしている。 ・身体障害者等の手帳、特定疾患(指定難病)医療費受給者証の交付を受けている方は保険証等の提示と申請によって免除している。 ・身体障害者等に対する駐車スペースを管理棟前に確保し、プレイホール及び食堂入口にスロープを設置して車いすでもスムーズに通行できるようにしている。 ・多目的トイレを設置している第4棟については、身体障害者のいる団体に優先的に割り当てた。	5	5…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。身体障害者等に対する駐車スペースを確保している。施設設備などは、身体障害者等に対応できるものとなっている。 4…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。身体障害者等に対する駐車スペースを確保している。 3…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。 2、1…上記3の対応の全部又は一部を行わなかった。	・管理棟(玄関→大研修室への階段、お風呂場)、プレイホールトイレ、クラフト室トイレ及び屋外トイレをバリアフリー化、4棟入り口付近の駐車スペースの確保等、施設・設備の改善整備を図る必要がある。 ・ユニバーサルデザインの考え方で事業内容や活動プログラムを見直し、体験活動の充実を図る。
②. 公平な利用計画	・利用申込み及び施設利用の公平性は図られたか。	100%	100%	・受け付け事務にあたっては、県内学校優先期間の令和5年4月1日より6月30日までに申し込みのあった学校について、希望どおりに受け入れることができた。 また、施設、器具、フィールド及び食事、入浴時間等は、調整を行い、アンケートの結果でも特に改善等の意見はなかった。	5	5…受け付け事務については、優先順位等の方針を100%履行した。また、施設、器具、フィールド及び食事、入浴時間等は、100%利用団体との調整を行い不満等の意見はなかった。 4、3…受け付け事務については、優先順位等の方針を100%履行した。また、施設、器具、フィールド及び食事、入浴時間等は、100%利用団体との調整を行い不満等の意見はほとんどなかった。 2、1…上記の対応の全部又は一部を行わなかった。	・今後とも、県内学校を優先するなど優先順位等の方針を100%履行して希望する日に利用できるよう配慮する。また、施設利用に関しては、意見要望に基づいて改善を行っていく。 ・引率の職員や指導者の入浴については臨機応変に対応できるよう心がける。
2. 少年自然の家の施設の効用の最大化							
①利用者の意見の反映							
・利用者の意見の把握	・利用者に対して、入所時にアンケート用紙を配布したか。また、その回収はできたか。	100%	97%	・宿泊利用の団体147団体にアンケートをお願いし、回収率は97%であった。	4	・5…アンケートの回収率が100%、4…80%以上、3…50%以上、2…回収率30%以上、1…30%未満	・今後も回収率100%を継続していく。
・利用者意見の反映	・利用者意見や要望等について、速やかに対応できたか。	100%	90%	・利用者からの意見は職員で共有し対応できた。 ・活動プログラム支援の要請には、全て対応し支援した。 ・今年度はキャンプサイト表示札や各宿泊棟の部屋看板を付け替えたり、各宿泊棟の各部屋に除湿器を設置したりするなど、施設環境を整えた。	4	5…全ての意見・要望に対応した。4…経費面で対応できないものを除き全ての意見・要望に対応した。3…経費面で対応できないものを除き、ほとんどの意見・要望に対応した。2…あまり対応しなかった。1…全く対応しなかった。	・今年度、宿泊棟(4棟・5棟)のトイレ改修を行った。 ・キャンプ場については、キャンプ協会にも相談しながら、キャンプ場の利用促進を図る。
・利用者満足度	・参加者の反応は、満足いくものであったか。	90%	98%	・ アンケートの結果、98%の団体が「よかった。とてもよかった。」との回答であり、「あまりよくなかった。良くなかった。」と答えた団体は3団体であった。(食事の内容に関して5件)	5	5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上、4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・施設・設備では、「良かった、とても良かった」との意見が99%であり、今後も利用者への接客対応等の研修を更に充実させ、継続して全ての人が満足するよう努める。
②主催(提案型)事業							
・参加者目標数の達成	・募集定員を確保することができたか。	100%	84%	・実施した14事業において募集人員に満たないものがあった。募集定員700人に対し、参加者は586人の84%であった。(出前講座は計上していない)	3	5…参加者目標の達成率100%以上、4…85%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・主催事業提案型事業を14事業実施し募集人員を下回った事業が9事業あったので、すべての事業で定員を超えるよう内容の充実と広報等に努める必要がある。
・参加者満足度	・利用者の反応は、満足いくものであったか。	90%	99%	・アンケートの結果、参加者586人中、99%が「とても楽しかった、楽しかった」との回答であった。参加者のうち9名が「あまり楽しくなかった、楽しくなかった」と回答。	5	5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上、4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・参加者の99%が、「とても楽しかった。楽しかった。」と回答した。友だち同士のトラブルや体力的に厳しい子どももいて、生活面の指導や我慢する心を養う必要がある。 ・主催事業の活動内容を工夫したり、既存の野外コースを改善したりするなど、参加したくなる活動に修正していく。
③ 食事の提供							
・安全な食事の提供	・食事提供の前に検食を行い安全の確認を行なったか。	100%	100%	・提供30分前に検食を行ない、特に異常は認められなかった。アレルギーのある児童・生徒等への対応は、食堂に最初に入ってもらうなど、事故がないように注意している。	5	5…検食の実施率100%、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・全ての食事(弁当を含む)の検食を行い、特に異常は認められなかった。今後とも、食堂会議で協議するなど厨房と職員との緊密な連絡を行う。
・食材の地元調達	・可能な限り地元調達を行ったか。	100%	10%	・魚・肉類や加工品を除く、米、野菜等の食材について、可能な限り地元から調達するよう食堂運営委託業者に依頼しているが、現段階では地元産での調達は厳しそうである。	1	5…食材の地元調達率90%以上、4…80%以上、3…70%以上、2…60%以上、1…60%未満	・ 県内からの調達が約10%であるが、地元からの調達に努めるようお願いする。
・利用者意見の反映	・利用者からの要望等に速やかに対応できたか。	100%	100%	・利用者からの意見・要望については、その都度食堂に改善するよう指示すると共に、厨房との連携を密にし、食堂会議で改善の結果や今後の対応などを検討し、利用者の意見の反映に努めた。	5	5…物理的に対応できないものを除き全ての意見・要望に対応した。4…ほとんどの意見・要望に対応した。3…可能な限り対応した。2…あまり対応しなかった。1…全く対応しなかった。	・食堂会議で厨房と連携を密にし、意見交換をしながら改善に努めているが、今後も利用者の意見に速やかに対応するなどの対策をとる。
・利用者満足度	・利用者の反応は、満足いくものであったか。	90%	93%	・アンケートの結果、食事の内容等では93%の団体が「よかった。とてもよかった。」との回答、食堂職員の対応では100%の利用者から満足したとの回答であった。	5	5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上、4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・「漬物が食べれない幼児がいた」「おかわりが足りない」「量が足りない」「お米が柔らかかった」との回答が5団体あり。今後とも委託業者と更なる向上を心がけていく。

項 目		評 価 の 観 点		数 値		実 践 事 項	評 点	価 値 基 準		課 題 ・ 改 善 点	
				目 標	実 績						
④	利用者の増加	・数値目標を達成できたか		100%	101%	・目標延利用者数20,000人に対し、20,173人の利用であり、達成率は101％であった。なお、県内利用団体数については、年度目標300団体に対し、408団体であり、達成率は136％であった。また、出前講座では38団体3,604人の参加があった。	5	5…数値目標の達成率100％以上、4…90％以上、3…80％以上、2…70％以上、1…70％未満		・新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受け、利用者は戻って来ている。今後も引き続き積極的に広報等に取り組み、利用者増を図っていく。	
	⑤	広報活動	・事業計画書のとおり広報を行ったか。		100%	100%	・県内幼稚園・保育園、小・中学校、高校及び福岡県、長崎県を含む大学校等関係団体を訪問し、リーフレット及び所報を配布するなどして、広報活動に努めた。	5	5…事業計画書以上の広報活動を実施した。4…事業計画書のとおり実施した。3…ほとんど事業計画書のとおり実施した。2…あまり実施しなかった。1…ほとんど実施しなかった。		・事業計画に沿った広報活動を行った。さらに、新たな広報先や手段を検討する。
	⑥	誘客活動	・小・中学校、高校、大学を訪問したり、リーフレットの送付などの誘客活動を行ったか。		延400箇所	227箇所	・幼稚園・保育園、小・中学校、高校、県内・近県大学並びに教育委員会等227箇所を訪問し、利用案内の文書、リーフレット、所報等を送付し、誘客活動に努めた。また、周辺スポーツ施設を紹介するリーフレットを改訂し、スポーツ団体等を誘致した。	4	5…訪問等の箇所300箇所以上、4…200箇所以上、3…100箇所以上、2…100箇所未満、1…未実施		・前年度並みに訪問活動を行い、所報や体験プログラム等の案内チラシ・ポスターの種類を増やして、郵送等により誘客活動に努めたが、利用者の大幅増加には至っていない。
3、管理経費の縮減											
		・収入の確保	・収入目標の達成に努めたか。		100%	122%	・収入目標額4,410,000円に対して、収入額5,371,052円で、目標に対して959,052円の増収であった。	5	5…数値目標の達成率100％以上、4…90％以上、3…80％以上、2…70％以上、1…70％未満		・国スポSAGA2024の関係で、収入目標額に対し、実績は目標額の122％であった。引き続き、誘客活動を促進し、収入の確保を目指す。
		・維持管理費の削減	・維持管理費の縮減に努めたか。		良	良	・施設の簡易の修理はもとより、樹木の伐木や剪定、屋外の清掃及び除草を職員で行ったり、必要箇所以外の消灯や節水型浴室シャワーヘッドの取替、トイレ・洗面台の節水設定等を行ったりすることで、維持管理費の削減に努めている。	4	5,4…縮減できた。3、2…あまりできなかった。1…全くできなかった。		・利用者へのサービス低下を招かないよう考慮しながら、今後も引き続き、維持管理の節減に努めていく。
4. 施設の管理											
①		職員の指導育成・研修体制	・職員研修は、計画のとおり実施したか。		年6種	年5種	・人権同和研修（1回代表1名）に参加した。また、普通救命講習、避難訓練（年2回実施）など防火・救命研修を3回実施した。職員連絡会の際にも服務規律を徹底するよう共通理解を図った。	4	指導員対象専門研修の受講、職場研修の実施 5…全部できた（年6種類以上）、4…できた（5種類以上）、3…3分の2程度できた（4種類以上）、2…半数程度しかできなかった（3種類以上）、1…できなかった（3種類未満）		・今後も他機関が実施する専門研修などに積極的に参加させるとともに、職場内での職員研修も実施し、職員の資質向上を図っていく。
②		職員の地元雇用	・職員等の雇用にあたっては、県内在住者を優先した雇用に努めたか。		100%	100%	・全ての職員が県内在住である。	5	5…100％県内在住、4…90％以上、3…80％以上、2…70％以上、1…70％未満		・今後も引き続き、地元雇用を行っていく。
③		県内発注	・清掃等の業務委託や物品調達等の際には、県内業者への発注に努めたか。		100%	100%	・全ての委託、物品調達などは県内業者に発注した。	5	5…100％県内業者、4…90％以上、3…80％以上、2…70％以上、1…70％未満		・引き続き、委託・物品調達などは、県内業者への発注に努める。
④ 安全管理対策・体制											
		・施設設備の安全点検	・施設・設備の点検を定期的に実施し、安全の確保に努めたか。		延24回	延26回	・委託業者による点検は電気工作物点検年7回、防火設備点検年2回、ボイラー点検及び貯水槽清掃を年1回実施した。 ・担当職員による遊具・フィールド点検を年12回、全指導員での点検を年4回実施した。	5	5…年12回を超えて実施、4…12回、3…6回以上、2…3回以上、1…3回未満		・定期的に点検し、安全確保に努めている。 ・宿舍整理に回るときや、事業の事前踏査などで、施設の点検可能な設備器具については安全点検を実施している。
		・事前打合せの実施	・利用団体の責任者に対し、施設利用の方法や注意事項について十分な説明を行ったか。		100%	100%	・宿泊する団体については、すべての団体について、事前の打ち合わせを十分に行っている（対面及び電話）。また、日帰り利用の団体にも活動計画を確認するなど丁寧な対応をしている。	5	5…100％実施、4…80％以上、3…60％以上、2…40％以上、1…40％未満		・来所での打ち合わせができない（県外等）団体については、電話で説明する際に施設の特性を含め十分に説明していくことが大切である。
		・活動プログラムの指導	・安全かつ効率的な活動ができるよう事前踏査を行うなど適切な助言・指導をしたか。		100%	100%	・全ての団体の指導者に対し、入所打ち合わせの際に活動プログラムの説明等を実施し、安全確保に努めた。	5	5…100％実施、4…90％以上、3…80％以上、2…70％以上、1…70％未満		・全ての団体の指導者に対し、入所打ち合わせの際に活動プログラムの指導等を実施していく。
		・活動当日の指導	・入所時にオリエンテーションを実施し、施設の利用案内、注意事項等を記載したチラシを配布し説明を行うとともに、活動の前には機器操作等の説明は、十分に行ったか。		100%	100%	・入所時にオリエンテーションを実施し、施設の利用案内、注意事項等を記載したチラシを配布し説明を行うとともに、活動の前には十分に説明を行うなど安全確保に努めた。	5	5…100％実施、4…90％以上、3…80％以上、2…70％以上、1…70％未満		・入所時のオリエンテーションの際に、施設の利用案内、注意事項等を記載したチラシを配布し説明を行うとともに、活動の前には十分に説明を行うなど安全確保に努めていく。
⑤ 事故及び災害時の対応体制											
		・消防防災訓練等の実施	・消防防災訓練を年1回以上実施したか。		2回	2回	・9月及び3月の2回実施した。	5	5…年2回以上実施、4…年1回実施、1…未実施		・年2回、消防訓練を実施しており、緊急事態に備え、今後とも定期的に訓練を実施していく。
		・防火組織及び防災組織の編成	・防火組織及び防災組織を編成するなどの非常事態への対応は万全か。		有	有	・消防計画に基づき、防火及び防災組織を編成し、定期的に消防訓練を実施するなど非常事態へ備えている。	5	5…編成している。1…編成していない。		・消防計画に基づき、防火及び防災組織を編成し、定期的に消防訓練を実施するなど非常事態へ備える。
		・救命・救急講習の実施	・救命講習会を実施し、すべての職員が救命技能を有するものとしての認定書の交付を受けたか。		100%	100%	・武雄消防署から救急救命士に来てもらい、全ての職員が普通救命講習会を受講し、救命技能を有するものとしての認定書の交付を受けた。	5	5…認定書交付者100％、4…90％以上、3…80％以上、2…70％以上、1…70％未満		・全ての職員が救命技能を有するものとしての認定書の交付を受けていく。

項 目		評 価 の 観 点	数 値		実 践 事 項	評 価 基 準		課 題・改 善 点
			目 標	実 績		評 点	評 価 基 準	
	・気象情報等の伝達	・利用団体に気象情報や熱中症等の情報を的確に伝えたか。	100%	100%	・気象情報や熱中症等の情報は、インターネット等により収集し指導者に的確に伝え注意を喚起した。また、利用団体に熱中症警報器を貸出し注意喚起を図った。	5	5…情報を把握し的確に伝えている。4…ほとんど伝えている。3…ある程度伝えている。2…あまり伝えていない。1…全く伝えていない。	・気象情報や熱中症等の情報を、インターネット等により収集し指導者に的確に伝え注意を喚起していく。
	・職員研修	・安全管理マニュアル等を整備し、職員への周知を図ったか。	1回	1回	・危機管理マニュアル等安全に関するマニュアルを作成し、全職員に研修等を行い周知した。	5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。	・安全管理マニュアルを作成し、全職員に研修等を行い周知していく。
	⑥ 苦情等に対する対応	・利用者等からの苦情等に対応するためのマニュアル等体制は整備されているか。	1回	1回	・苦情等に対応する対応マニュアルを作成するとともに、所長を班長とする苦情処理対策班を設置し早期解決を目指した。	5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。	・苦情等に対応するためのマニュアルを作成するなど対策に努める。
	⑦ 個人情報の保護	・個人情報保護に関する規定を制定するとともに職員に対する研修を実施したか。	1回	1回	・個人情報保護の関する規程を制定するとともに、職員に対する研修を実施し個人情報保護に努めた。	5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。	・個人情報保護に関する規程を制定するとともに、職員に対する研修を実施し個人情報保護に努める。
総合評価	実 践 事 項					課 題 ・ 改 善 点		
	・管理運営の基本方針に基づいた適切な運営ができたか。	○令和6年度黒髪少年自然の家の管理運営にあたっては、「自然との出会い」「友との出会い」「我慢との出会い」の3つの出会いをテーマに、利用者のニーズを尊重し、親しまれ、喜んでいただける施設を目指し管理運営業務を実施した。その評価は、評価項目30項目のうち5評価は22項目、4評価は6項目、3評価は1項目、2評価は0項目、1評価は1項目で平均4.60点であり、概ね良好な管理運営ができたと考える。 ・生活保護家庭等や就学困難な児童・生徒への全額免除、障害者等に対する駐車スペースの優先確保。多目的トイレ(第4宿泊棟)の優先貸出。 ・車椅子利用者に対する設備等が十分でなく、段差解消のためのスロープ等簡易なものは対応したが、抜本的な解決には至らなかった。 ・利用者からのアンケート回収率は、97%であった。 ・98%の団体が「とてもよかった」「よかった」との意見であった。 ・事業については、黒髪山系の恵まれた自然環境を生かし、18事業を実施し、定員に対して84%の参加、98%から楽しかったとの意見。 ・食事については、全ての食事の安全を確認し、内容等では93%、職員の対応では100%の利用者から満足したとの意見。 ・利用者については、延べ利用者数が目標数20,000人に対して1%増の20,173人であった。 ・収入については、目標額4,410,000円の122%の5,371,052円。可能な限り職員による修理、エアコン利用は、平等性を保ちながら、努力を継続。 ・安全管理については、定期点検を月1回行い、気象情報、熱中症等の情報は利用団体に速やかに伝えるなど利用者の安全に努めた。 ・事故及び災害への対応は、危機管理マニュアル等を整備し、年2回の消防訓練と、全職員が普通救命の認定書の交付を受けている。 ・苦情等への対応は、対応マニュアルを作成し、所長を班長とする苦情処理対策班を設置し対策を講じている。 ・情報セキュリティマニュアル及び個人情報・情報セキュリティハンドブックを作成し、職員への研修を実施した。				○評価項目のうち、「参加者目標数の達成」が「3」評価であるため、改善を要する。 利用者の増加に関しては、今後ともプログラムや活動内容を充実させ、広報活動を積極的に実施していく。また、その他の評価についても利用者の意見を取り入れるなど、これまで以上に利用者に親しまれ喜んでいただける施設運営を目指すとともに、リピーターの確保、スポーツ団体や中、高校の部活動の合宿の誘致など利用者増に努める必要がある。そのため、周辺の運動施設を紹介し利用料の負担するなどの工夫しているところである。 ①身体障害者、特に車いす利用者が利用しやすいように、段差解消のためのスロープの設置や多目的トイレの増設などバリアフリー化への取組が必要である。 ②アンケートの回収率は、利用団体の97%であった。アンケートの重要性を利用団体に十分に説明するとともに、ご指摘があったことについては、迅速な対応を心がけていく。 ③主催事業提案型事業を14事業実施し、募集人員を下回った事業が9事業あったので、すべての事業で定員を超えるよう内容の充実と広報等に努める必要がある。 ④維持管理費の縮減については、利用者へのサービスを低下させないよう配慮しながら実施することが重要である(特に夏季における熱中症対策)。節水、節電等については、利用者へ対しても協力を呼びかける等引き続き努力する。 ⑤事前打ち合わせについて、安全かつ効率的に研修を実施するためには研修についての事前の打ち合わせと指導者自らが事前にプログラムを体験することの重要性を説明し、実施率の向上を目指す必要がある。学校等の都合により必要であれば指導員が訪問し、特性を含め丁寧な説明と充実した活動計画の作成を心がけていく。 ⑥食材については、可能な限り地元から調達するよう委託業者との間で取り決めており、さらに努力するように願っている。 ⑦今年度は、利用者が目標数を上回ったが、今後とも、学校に対しては学校行事だけに限らず、サークル活動、親子行事等による利用を強力に推奨するとともに、スポーツクラブ、中・高の部活動への誘客活動を推進し、利用促進に努めていく。 ⑧教育効果の高いプログラム開発や利用団体に対する質の高い指導・支援を行うため、職員のスキルを高めることが重要である。国立青少年自然の家等でのNEAL養成研修に職員を積極的に参加させる。また、接遇及び個人情報保護や危機管理に関する研修等を行い、職員の能力の向上を図る。さらに、消防訓練の実施、普通救命講習の受講等により不慮の事故への備えが必要である。		
評価委員評価	●令和6年度 管理運営業務評価委員会の結果(令和6年12月2日(月)・令和7年2月12日(水)開催) 総合評価(委員3名:評価点 5、4、5) 【坂本委員】 ①芋苗植えから芋掘りまで、シイタケの菌打ち体験、その他様々な魅力あるプログラム。是非とも、もっとたくさんの方々、子どもたちに体験してもらいたいですね。 ②黒髪の自然も美しいですね。 ③何年か前に初めて訪れた時より新しくリニューアルした様子。 ④工事が完全に終わると、利用者の方も使いやすくなることでしょう。 ⑤今後も体力勝負の維持管理、整備よろしく願います。 【山崎委員】 ①コロナ禍前の状況に戻すための対応、よろしく願います。 ②考えたくない事が発生した際の対応については、常時、話題にし、諸活動に取り組んでいただきたい。 ③「今求められている貴施設存在の意義、価値」「経営方針」を職員間のチームワーク・フットワーク・ネットワークで実現していただきたい。 【青木委員】 ①社会のニーズを踏まえた改革を。 ②佐賀県では児童・生徒数の減少に伴い、学校数も年々減っている。そのような状況の中、このままの状態では利用者数を増やすことは難しい。利用対象者を県外に広げる。また年齢層を児童生徒から一般・高齢者まで対象を広げる必要がある。『少年自然の家』の『少年』を削除してはどうかと思う。 ③キャンプなどアウトドアスポーツの需要が増えてきている今、今までの施設の利用形態を大幅に変えてはいかかかと思う。テント泊ができる場所・車中泊ができる場所などできるのではないかと思う。既存の利用形態を見直すチャンスだと思う。					■利用者の年齢層の拡大 ・リニューアルした施設の様子や魅力あるプログラム、黒髪山系の自然の美しさなどをSNS等での情報発信したり、少年スポーツ団体への広報、中学校、高等学校、大学の部活動の合宿等の誘致(特に長崎県北部や福岡県西部の諸学校へは積極的に働きかけたい)、企業研修の誘致などを行ったりすることで、利用者増及び利用年齢層の拡大につなげる。 ■ユニバーサルデザインの考えを取り入れたプログラムの開発 ・施設が完全なバリアフリーではないことや施設設置場所の地形的要素などもあって、車椅子利用者への十分なケアがなされていないが、可能な範囲でユニバーサルデザインの考えを取り入れた体験プログラムを開発していく。 ■社会のニーズを踏まえたプログラムの開発。 ・キャンプなどアウトドアスポーツの需要が増えてきているので、キャンプ協会等に相談しながら購入した新テント(20張)を使ったキャンプ泊の実施促進を図るとともに、SNS等でも積極的に広報活動を行っていく。 ■地域等の活動団体や自治体との連携プログラムの開発 ・地域等のボランティアや活動団体、または自治体と連携したプログラムを開発していく。 ■安全管理マニュアルの更新(食物アレルギー、異常気象・・・)と危機管理意識の向上 ・年度終わりに年間の対応を振り返り、マニュアルの見直しを行い、年度当初の職員会議において職員で確認する。 ・危機管理意識を高く持ち、日々の安全点検、気象情報や熱中症等の情報提供などを迅速かつ適切に行い、危機回避を確実に行う。		